

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書



令和4年10月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、新型コロナウイルス感染症の拡大や資源価格高騰等による社会経済、国民生活への甚大な影響や、気候変動に伴い連年発生する大規模自然災害の深刻な被害に直面しています。また、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた取組や x ROAD をはじめデジタルトランスフォーメーション(DX)への投資の加速、新たなライフスタイルを見据えた分散型の国づくり等、新たな時代の課題にも適切に対応しなければなりません。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や激甚化・頻発化する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など我が国同様様々な課題を抱えています。

このような状況に加え、自動車産業の 100 年に一度の大変革期を迎えより一層厳しさを増す中で引続きものづくり産業の中核として日本経済を牽引し、感染症の拡大防止を前提に経済社会活動の確実な回復とともに経済好循環を加速・拡大させるためには、生産性の向上や国際競争力の強化など新しい資本主義の実現に資する取組が重要であります。さらに、防災・減災が主流となる災害や老朽化に屈しない強靭なまちづくりや交通安全の確保など安全・安心な社会の構築が必要です。

これらの取組を進めるうえで、道路はポストコロナ社会の持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化や活性化を図る道路ネットワークの機能強化、インフラメンテナンス及び DX の推進など防災・減災、国土強靭化の加速化、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

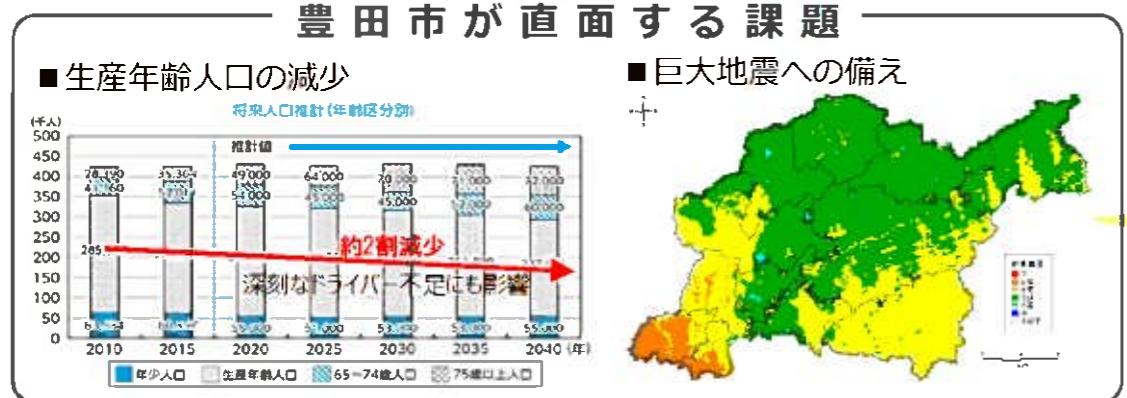
このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靭化のための 5 か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、5 か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと**
- 2 経済活動復興や豊かで活力ある地方創りに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
とりわけ、国道 155 号豊田南バイパスについては、開通見通しを早期公表すること
- 3 子供達の安全・安心を守るために、通学路等の交通安全対策の強化・推進と必要な予算を継続的に確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要とする国道、県道、市道のいずれもが、資材価格が高騰する中でも、整備・管理を長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、令和 5 年度道路関係予算は所要額を満額確保すること**



自動車産業の「100年に一度の大変革期」をインフラがサポート～成長の果実を全国へ分配～

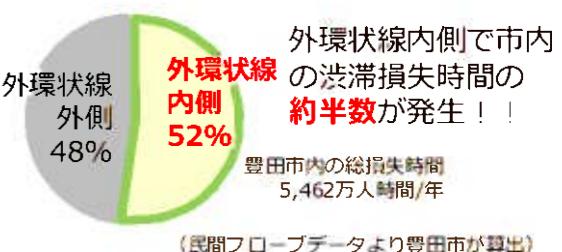
人流・物流の円滑化や活性化により生産性向上や地域活性化を図り、災害時における緊急輸送道路の機能確保など
安全・安心で成長基盤の強化に資する、豊田南バイパス・豊田北バイパスの早期整備が必要です。



交通課題

主要な幹線道路が通過する中心市街地で多数の渋滞が発生し、市民生活や企業活動を阻害

人流・物流の円滑化が必要



自動車産業的一大集積地における物流の速達性や定時性を向上 **豊田南バイパスの開通見通しの早期公表を強く要望**

豊田南バイパス利用時の移動時間



自動車部品企業の期待

とりわけ豊田南バイパスができると渋滞を避けスムーズな輸送と定時性が確保できるため、一日でも早い開通を期待しています。

(R4.1 企業ヒアリング)

豊田南バイパス
用地取得率 100%
全線工事中



- 物流の効率化による生産性の向上や国際競争力の強化
- カーボンニュートラルへの適応や資源価格高騰への対応を物流の円滑化によりサポート

開通への期待から地域開発が進展

宅地供給等を促進する北部地域

土地区画整理事業
浄水・四郷・平戸橋
5,540戸 185ha

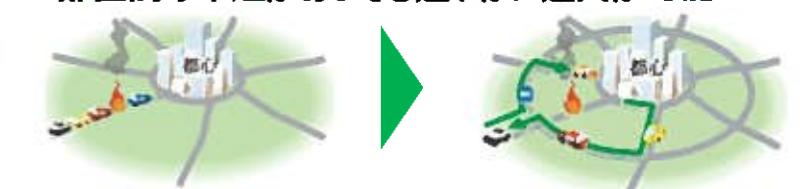
● 民間投資・
需要を喚起

花本産業団地の需要が高まり拡張事業を実施、民間商業施設も多数進出



災害時には強靭な命綱として機能を発揮

一部区間の不通があっても速やかに迂回が可能



第3次救急医療施設までの救急搬送エリア等が拡充
豊田厚生病院(第3次救急医療施設)15分圏域の変化

【現状】	面積	【整備後】	【現状】	人口	【整備後】
約40km ²	約1.5倍	約59km ²	約11.1万人	約5.1万人	約16.2万人

- 幹線道路ネットワークの環状機能強化により
災害においても市民生活や企業活動を維持

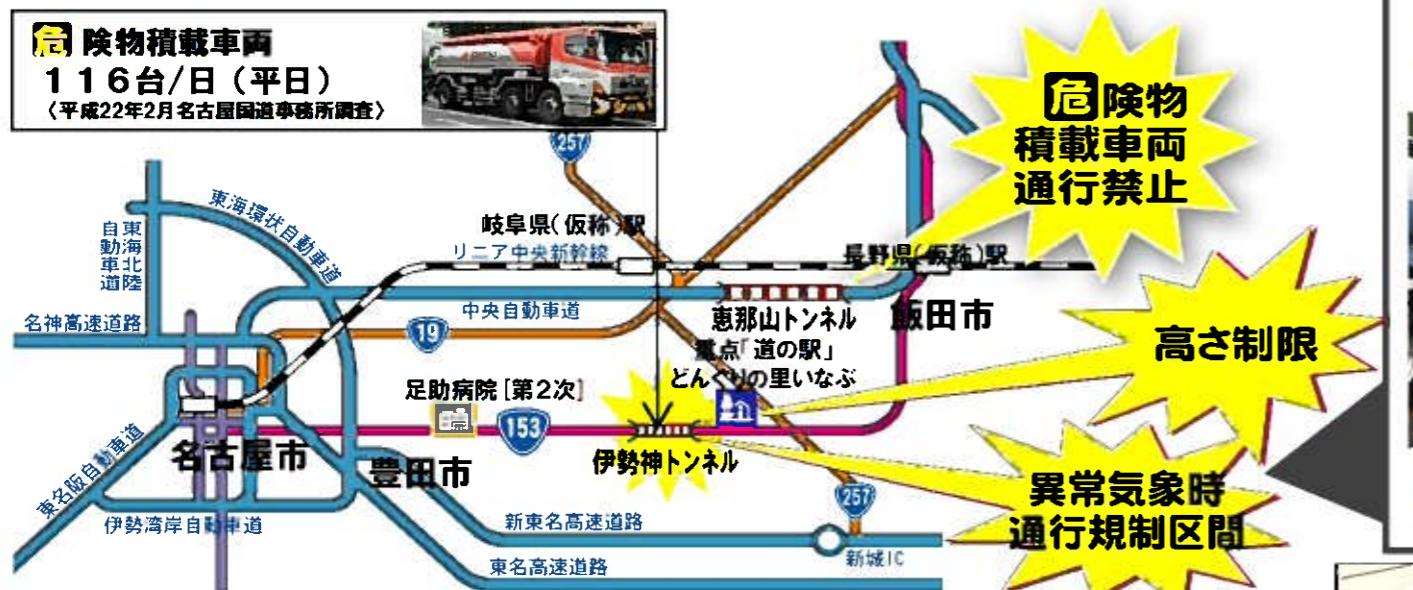


安全・安心や広域的な人流・物流を支える道路整備

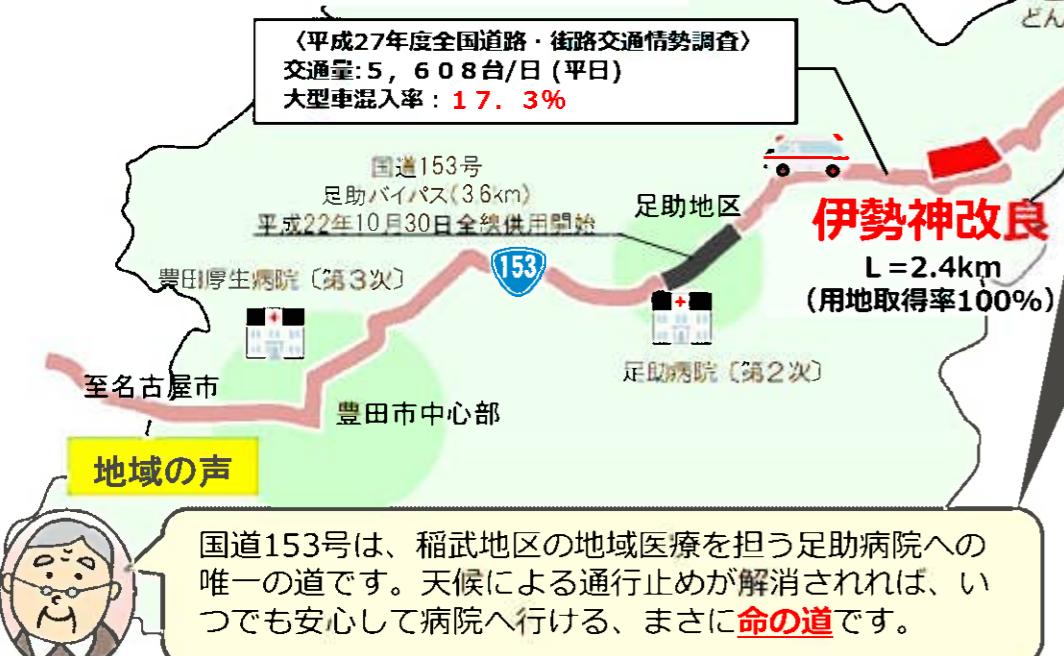
広域な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、
狭隘トンネルの早期解消が必要です。

国道153号 伊勢神改良～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

- 国道153号は、名古屋-飯田間の**危険物輸送における唯一のルート！重要物流道路に指定！**
- リニア開通後は稻武から足助、**西三河をつなぐ最重要路線！**



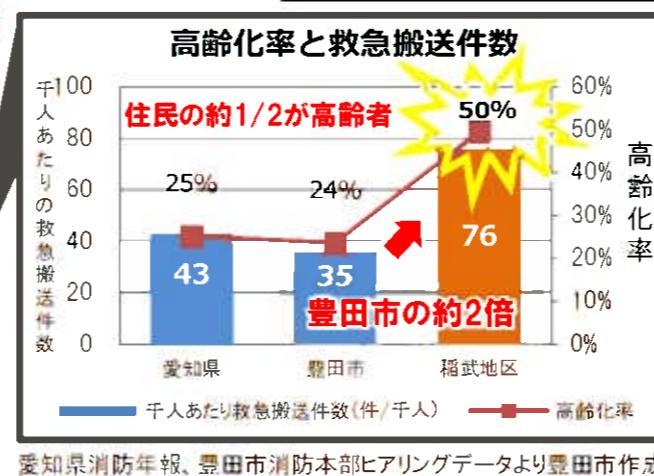
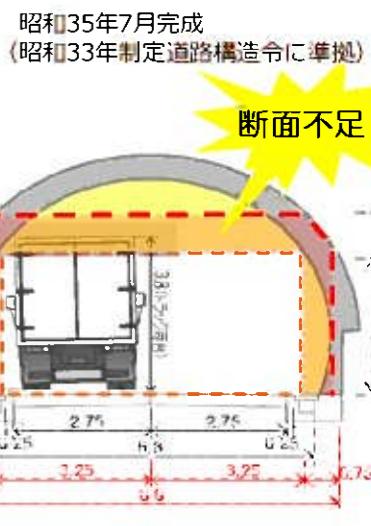
- 国道153号は、稻武地区から豊田厚生病院(第3次救急医療施設)への**重要な搬送ルート**
- 市街地へのメインルート！



交通課題 狹隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害



伊勢神トンネル



伊勢神改良の早期開通を要望

- 人流・物流を途絶えることなく確保し、人命・経済の損失を最小化
- 広域な危険物輸送の唯一のルートとして安定したエネルギー供給による生産性の向上
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上



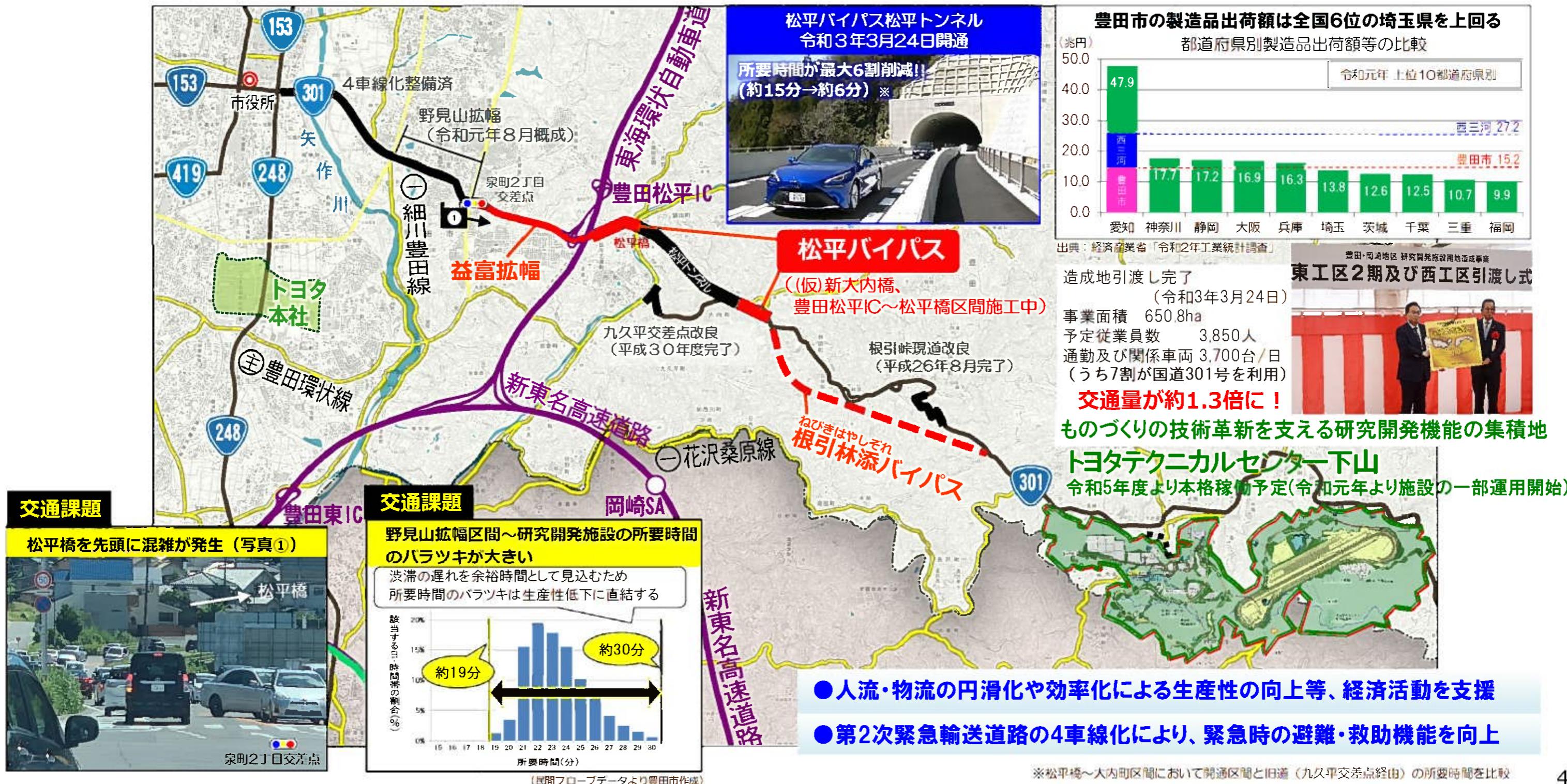
ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

国道301号 松平バイパス～トヨタテクニカルセンタ－下山(Toyota Technical Center Shimoyama)へのアクセス道路整備～

○下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンタ－下山は、豊田市が更なるものづくり中枢都市としての持続的成長に資する重要な施設です。

○施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備は最優先事業**です。



ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、物流を円滑化し、生産性の向上に資する道路の整備が必要です。

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス ~刈谷スマートICへのアクセス道路整備~

- 豊田市の南部地区は、自動車産業における主要な工場が集積しており、豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。
 - 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現するため、(都) 豊田刈谷線の整備が必要です。



持続可能な都市の発展を実現する道路整備

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を支えるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

国道419号 四郷拡幅～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

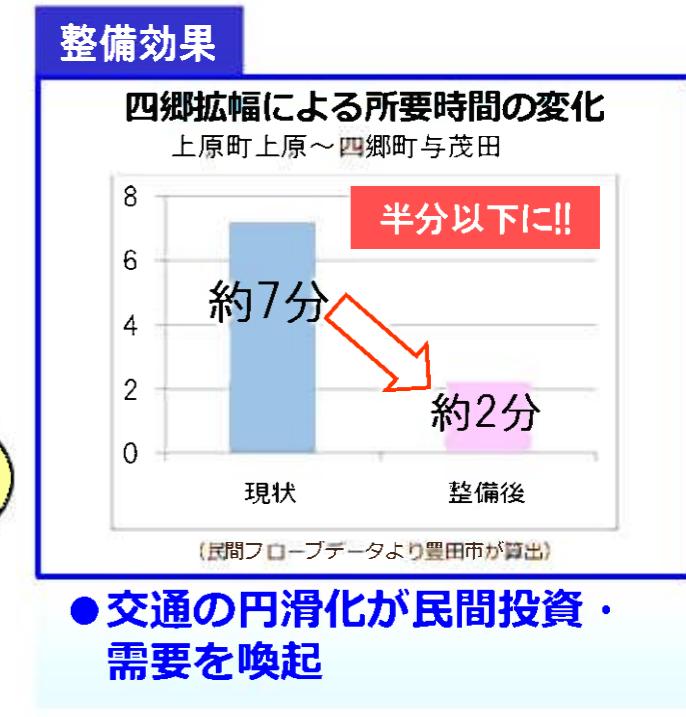
- 現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い交通需要が増加することが見込まれています。
- 既存の主要渋滞箇所を含め、円滑な市民活動、産業活動を確保するため、

国道419号の早期の4車線化整備

が必要です。



- 道路整備による期待感から土地利用が高度化
- | 花本産業団地 | 18区画(計画含む) |
|---------------|--------------|
| 四郷駅周辺土地区画整理事業 | 731戸(計画含む) |
| 民間商業施設 | 12店舗(R4.5時点) |



通学路等における交通の安全・安心の確保

通学路等における子供達の安全・安心を守るため、地域の実情に対応した**交通安全対策の強化・推進と必要な予算を継続的に確保**することが必要です。

国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



勘八地区



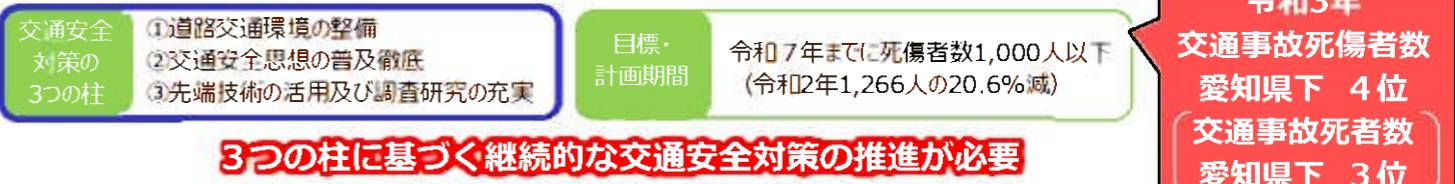
中学校の通学路に歩道を整備（令和4年度新規事業化）

小田木地区



名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性が向上

第11次豊田市交通安全計画（令和3年12月策定）



①道路交通環境の整備

住宅地に流入する通過交通



生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備



②交通安全思想の普及徹底 ③先端技術の活用及び調査研究の充実

ビッグデータを活用した事故多発地点対策



自転車交通ルールの周知



新たな技術の実装に向けた実証の推進



交通事故ゼロの豊田市を目指す

災害に屈しない強靭なまちづくりや豊かで活力ある地方の創生

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全な社会の構築や都市・中山間地域を問わず持続可能で賑わいのある地域・まちを創出するため、防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保が必要です。

防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム (中部ブロック版) (直轄事業)

◆災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策



◆道路施設の老朽化対策、土砂災害防止対策



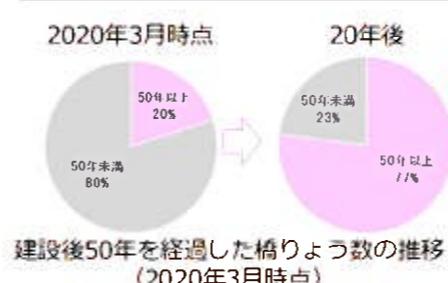
● 安全・安心を確保し、災害から国民の命と暮らしを守る

計画的なメンテナンスのための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	： 約2,550km	愛知県下 2位
橋りょう	： 約1,200橋	愛知県下 3位
横断歩道橋	： 40橋	愛知県下 1位

愛知県下トップクラス
の道路施設管理数



20年後には
約80%の橋りょうが
50年を経過

予防保全型
メンテナンスの推進

豊田市公共施設等総合管理計画 (H29.3決定)

豊田市道路施設管理計画 (H29.3決定)

舗装	橋りょう	横断歩道橋	トンネル	シェッド	大型カルバート	道路付属施設	道路土工構造物
189km	1,183橋	40橋	3本	2基	8箇所	門型標識:5基	646箇所

1巡目の橋りょう定期点検結果(H26~H30)
約120橋(約10%)が修繕対象に

長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施
114橋 (約96%) 完了 (R3末時点)

● 将来を見据えた持続可能で適正な
維持管理

重点道の駅「どんぐりの里いなぶ」～地方創生・防災・観光拠点～



リニューアルオープン(R4年7月2日)

地域振興



広域的な災害応急対策の拠点

防災拠点

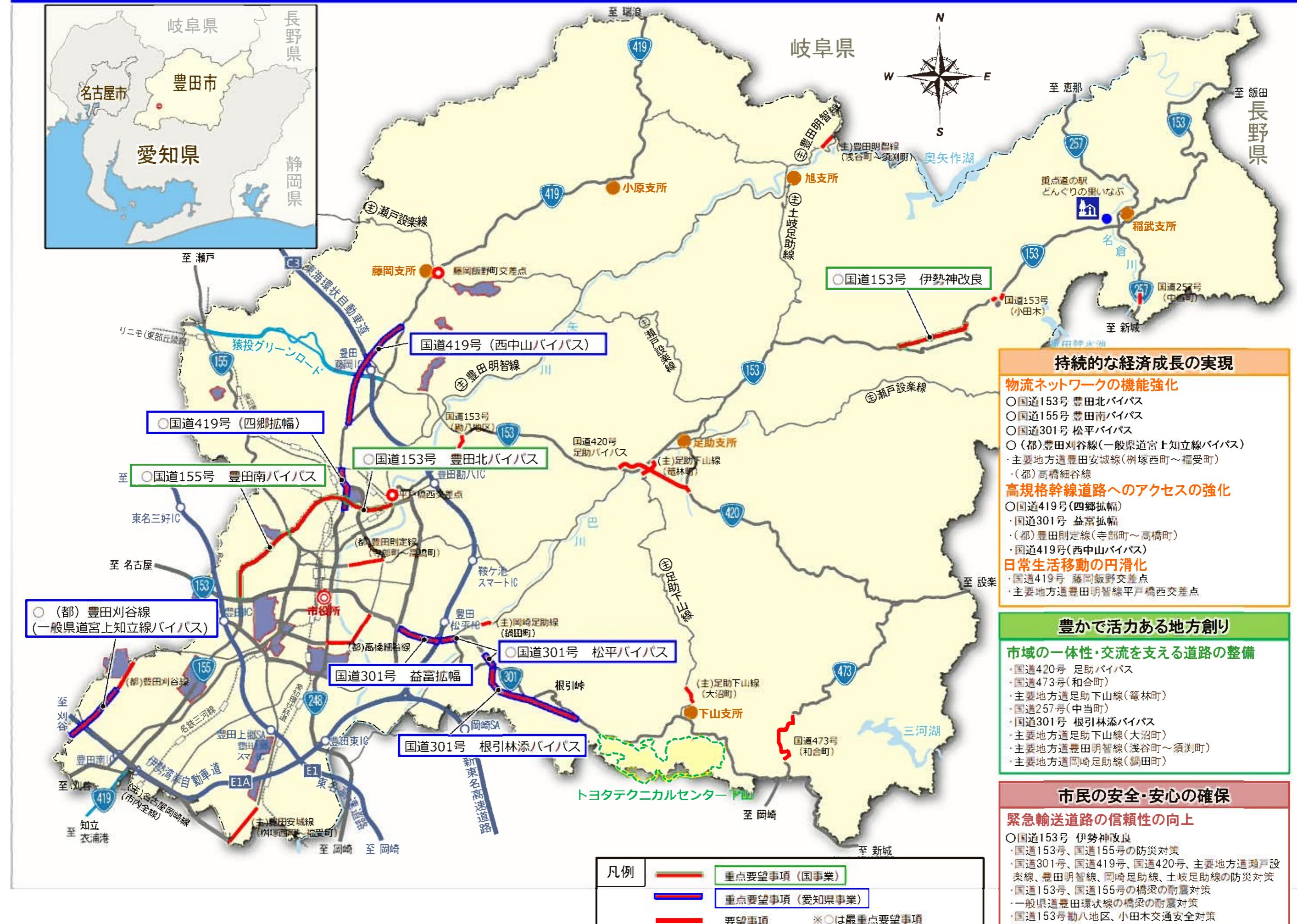


観光総合窓口

ラリーを生かしたまちづくり

- 様々な機能が集約し、中山間地域の暮らしと経済活動を支える小さな拠点
- リニア開業を見据え、豊田市の北の玄関口として国内外に魅力を発信

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和4年10月11日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長
太田稔彦

豊田市議会議長
板垣清志

豊田商工会議所会頭
三宅英臣